

(様式3)

事業所名 グループホーム七福神

目標達成計画

作成日: 令和5年12月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践で、センサーマットの設置や鈴等の使用に頼りすぎている。	安全・安心を理由に安易に、センサーマットや鈴等の設置を行わない取り組みを進める。	身体拘束廃止委員会で協議し、継続したモニタリングと評価を行いながら利用者の安全確保を優先に県庁しながら介護を行う。	6ヶ月
2	5-2	虐待防止研修で、具体的に虐待につながる言動がどのようなものなのか学べる機会や工夫が足りない。	虐待が疑われる行為がないように職員の知識を高め、介護業務を実践する。	虐待防止研修会では、具体的にどのような言動が虐待につながるのか理解し介護にあたる。	6ヶ月
3	9-2	アセスメントシートや支援経過に記録があるが、一覧で見れる集約されたものがない。	得た情報を一覧表にして記録に基づく支援を実践する。	職員個人の記憶に基づく支援ではなく、記録に基づく支援となる様に得た情報を支援に活用できるように一覧表にして支援に活用する。	6ヶ月
4	12-2	意識消失、窒息、嘔吐、大出血等の日常的に起こりうる事故に対する初期対応については定期的な訓練が実施されていない。	どの介護職員も、急変や事故発生時の対応が的確にできるようにする。	急変や事故発生時に備えて、マニュアルが整備されているが、日常的に起こりうる事故に対する初期対応について、定期的な訓練を実施する。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。